



第4回



市民公開講座

"見える、食べられる"を守るために、今できること

日時

2026年10月18日

13:20～15:45
(12:50受付開始)

場所

香取市小見川市民センターいぶき館 多目的ホール
香取市羽根川38番地 JR小見川駅から徒歩10分
駐車場有(小見川支所、香取おみがわ医療センター)

☑参加無料

☑事前申込不要



司会 看護部長 藤原 浩美

講演 第1部 「子どもから大人まで、眼の健康寿命を延ばすために」

講演進行：副看護部長 渡辺 智紀、副医療支援部長 飯塚 信義

眼を守るためにできること

視能訓練士 木戸岡 喜恵

眼の手術は怖い？実際の診療の流れとは
～白内障の手術の入院から退院まで～

看護師 人見 真帆、寺田 幸子

知っておきたい身近な眼疾患

医師 大内 夢衣花

講演 第2部 「おなかの不調を見逃さず、やさしい治療で元気な毎日へ～」

講演進行：医療支援部長 木戸岡 智志、外来看護科師長 遠藤 美枝

内視鏡検査や治療を安心して受けるために
～外来検査、内視鏡治療の入院から退院まで～

看護師 浪川 玲子、池谷 美由紀

知って安心！内視鏡検査を支える機器と工夫

臨床工学技士 亀ヶ森 杏菜

絶対に知っておきたい！おなかの病気とからだにやさしい治療
～胃腸・胆石・便秘など～

医師 宮内 洋平



大内 夢衣花

眼科医長 医学博士
日本眼科学会 眼科専門医
視覚障害者用補装具適合判定医師



宮内 洋平

内科部長 医学博士
日本外科学会 外科専門医
日本消化器外科学会
消化器外科専門医
消化器がん外科治療認定医
日本肝臓学会 肝臓指導医・専門医
日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医

講師と講演内容のご紹介

講演 第1部 テーマ

「子どもから大人まで、
眼の健康寿命を延ばすために」

● 眼を守るためにできること

臨床検査科 視能訓練士
上席主任技師 木戸岡 喜恵



人は普段、両眼で物を見るため、片眼の異常に気付きにくいものです。早期発見のためには定期的な眼科受診が大切です。本講演では受診時の不安がなくなるよう、眼科での検査の流れを分かりやすく紹介します。

● 眼の手術は怖い？実際の診療の流れとは ～白内障の手術の入院から退院まで～

東病棟看護科 看護師 人見 真帆（左）
手術科 看護師 寺田 幸子（右）



白内障の手術は、一般的に「手術は怖い」「本当に見えやすくなるのかな」など不安なイメージがあります。

本講演では、患者さんが安心して手術を受けていただけるように、実際の診療の流れや手術前後の過ごし方についてお伝えしていきます。

● 知っておきたい身近な眼疾患

眼科医長 大内 夢衣花

眼の健康を守るために知っておきたい、身近な眼の病気についてお話しします。病気それぞれの特徴を解説し、白内障は手術で視力の改善が見込めることや、視神経障害である緑内障では、早期発見の重要性とその治療、また、糖尿病網膜症の対応と治療などについて、最近の医療を解説します。子どもの近視編では、近視の進行メカニズムや悪化を防ぐ生活習慣、そして点眼薬による治療についてわかりやすく説明します。

ご自身やご家族の眼の健康を守るために、予防や早期発見の大切さを学び、日常生活に生かせる知識としてお持ち帰りいただけます。



講演 第2部 テーマ

「おなかの不調を見逃さず、
やさしい治療で元気な毎日へ」

● 内視鏡検査や治療を安心して受けるために

～外来検査、内視鏡治療の入院から退院まで～

外来看護科 主任看護師 浪川 玲子（左）
東病棟看護科 副看護師長 池谷 美由紀（右）



内視鏡検査は、病気の早期発見や治療につながる大切な検査ですが、検査を受ける際には不安を感じる方も少なくありません。

内視鏡検査前の準備や外来検査、入院治療の流れを紹介し、不安なく、安心して検査や治療を受けていただけるよう、分かりやすく解説いたします。

● 知って安心！ 内視鏡検査を支える機器と工夫

臨床工学科 臨床工学技士 亀ヶ森 杏菜



内視鏡検査に不安や疑問はありませんか？当医療センターでは安全で負担の少ない検査を目指し、さまざまな機器や技術を導入しています。安心して検査を受けていただくための工夫や取り組みについて分かりやすくご紹介します。

● 絶対に知っておきたい！ おなかの病気とからだにやさしい治療 ～胃腸・胆石・便秘など～

内科部長 宮内 洋平

本講演では、「絶対に知っておきたい！おなかの病気とからだにやさしい治療～胃腸・胆石・便秘など～」をテーマに、胃カメラなどの内視鏡検査の話題や、皆さまにとって身近な病気である胃腸や胆石、便秘などのトピックを、実際の画像などを交えながら分かりやすく解説します。

病気や検査、治療に対する疑問や不安の解消につながる内容とともに、明日からの皆さまの生活に役立つ情報を、一つでもお土産として持ち帰っていただければ幸いです。

皆さまにお会いできることを楽しみにしております。